

教員名(Name) : 田地野 彰 (Tajino Akira)

***ゼミタイトル Seminar Title**

言語教育をシステムとして捉える（発展）

***授業概要 Outline of the contents**

週末の過ごし方から就職先の決定まで私たちは日々意思決定を行っています。意思決定には冷静かつ広い視野で物事を捉える態度が求められます。文法や語彙研究、カリキュラム開発など複数の専門家が関与する言語教育を人間活動システムとして捉え、言語教育に関わる種々の問題状況を解決・改善するための方法について紹介します。具体的には、言語教育が抱えるさまざまな課題をシステム思考により整理し、新しい解決法を検討します。とくにソフトシステム方法論（SSM）を援用しながら、従来の言語教育を俯瞰し、複眼的思考により関連諸課題を捉え直し、その解決・改善にむけたアプローチを試みたいと思います。

- ・ ソフトシステム方法論（SSM）とは？
- ・ SSM とカリキュラム開発
- ・ 教育文法の体系化
- ・ 教授システムの構築
- ・ 学習システムの構築
- ・ SSM と授業研究

なお、言語教育そのものに特別な関心がなくても大丈夫です。物事をシステムとして捉える視点は、言語教育に限らず、さまざまな分野に応用できます。こうしたミカタを身につけることは、きっとみなさんの将来をより豊かにしてくれることでしょう。

***授業の形式 How the class is conducted**

講義と演習（おもに発表とディスカッション）を組み合わせて行います。

***課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

成績評価は、課題の成績と授業での取り組み状況（参加・貢献度など）を総合的に判断して行います。

***その他 Others**

システムアプローチを用いて柔軟な発想を楽しみたいと思います。